

ヨーロッパ映画の現状

— 芸術・市場・オーディエンス —

報告者（報告順）：マウロ・ネーヴェス（本学外国語学部教授）
エレナ・ガジェゴ（本学外国語学部准教授）
押場 靖志（イタリア映画評論家）
オブヒュルス鹿島 ライノルト（本学外国語学部教授）
吉村 和明（本学文学部教授）
ジョン・ウイリアムズ（本学外国語学部准教授）
マートライ・ティタニラ（早稲田大学演劇博物館研究員）
村田 真一（本学外国語学部教授）
狩野 良規（青山学院大学国際政治経済学部教授）

プログラム（各ブロック報告後、質疑応答、コーヒープレイク）

総合司会 吉村 和明

開会挨拶 オブヒュルス鹿島 ライノルト

13:10～14:20 Aブロック（ポルトガル、スペイン、イタリア）—司会 村田 真一

マウロ・ネーヴェス — ポルトガル映画：芸術とオーディエンスのコントラスト
エレナ・ガジェゴ — スペイン映画：イシアル・ボシャイン
押場 靖志 — イタリア映画におけるサバルタン

14:30～15:40 Bブロック（ドイツ、フランス、イギリス）—司会 押場 靖志

オブヒュルス鹿島 ライノルト — ドイツ映画における「ヨーロッパ」：ハンネス・ステールの “One Day in Europe”
吉村 和明 — クリストフ・オノレ『美しい人』におけるフランス映画の現在
ジョン・ウイリアムズ — イギリス映画とヨーロッパのファンディング：経済と芸術

16:00～16:40 Cブロック（ハンガリー、ロシア）—司会 吉村 和明

マートライ・ティタニラ — ハンガリー映画における1956年の動乱
村田 真一 — 「日常」の手ざわり：キーラ・ムラートワ

16:45～17:15 まとめ

狩野 良規 — ヨーロッパ映画に「ヨーロッパ」は存在するか

17:15～17:55 全体討論

閉会挨拶 村田 真一

* シンポジウム終了後、懇親会を予定しています。参加される方はシンポジウム開始前に受付でお申し込みください（会費3,000円）

上智大学ヨーロッパ研究所

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
上智大学中央図書館7階
Tel. & Fax.: 03-3238-3902
E-mail: i-europe@sophia.ac.jp
<http://www.info.sophia.ac.jp/ei>

使用言語：日本語

入場無料・申し込み不要

日時：2010年2月20日（土）13:00-18:00

会場：中央図書館8階（L-821）

共催：上智大学学内共同研究「ヨーロッパ映画における『ヨーロッパ』」

上智大学ヨーロッパ研究所